

基礎生物学委員会（第25期・第2回）、統合生物学委員会（第25期・第2回）
合同会議 議事要旨

日 時 令和4年3月11日（金）17:00~19:10

場 所 オンライン会議（Zoom）として開催

出席者（五十音順、敬称略）：（基礎生物学委員会）岩崎博史、大路樹生、小柳義夫、川人光男（統合生物学委員会委員も兼任）、小林武彦、後藤由季子、城石俊彦、杉本亜砂子、寺北明久、西田治文、原田慶恵、深田吉孝、三村徹郎、（統合生物学委員会）北島薫、村山美穂、

欠席者：（基礎生物学委員会）菅野純夫、武田洋幸、（統合生物学委員会）五斗進、池邊このみ

議 題

（1）参加者の自己紹介

出席の各委員から自己紹介が行われた。

（2）学術会議からの連絡事項

北島委員長、小林委員長から、学術会議執行部からの連絡事項として、特に意思の発出における新しい査読システムの説明が行われた。

各委員会からの査読者として、それぞれ下記二名が選出された。

基礎生物学委員会：小柳義夫、三村徹郎、

統合生物学委員会：西田治文、（五斗進（補欠 村山美穂））

（3）分科会委員長の連携会員の統合生物学委員会に追加について

北島委員長から、統合生物学委員会においても、基礎生物学委員会と同様に、各分科会委員長に委員としての参加を求めることが決められた（統合生物学委員会出席者による決定）。

（4）国連の「持続可能な発展のための国際基礎科学年 IYBSSD2022」について

西田委員から、今年7月から始まる「持続可能な発展のための国際基礎科学年 IYBSSD2022」の説明が行われ、参加協力が求められた。

（5）各分科会報告

出席の各分科会委員（長）から、それぞれの分科会の活動状況の報告があった。

・ DNA 配列のデジタルデータについての法的な制限に関する動向（城石、小柳）

- ・ IUBS 総会の日本開催について（西田）
などの報告が行われた。

（6）生物・生命科学に関わる問題の意見交換

- ・ 博物館法の改正が進められていて、博物館から学術研究の要素が除かれつつある。現在、設立運動が進められている国立沖縄自然史博物館に学術的要素を入れることが重要と考えられる（大路）

- ・ 学協会と学術会議の距離感をどのようにするのが明確ではない、以前は学術会議と学協会は峻別するものと言われていたが、最近はまだ協力関係が求められているのか（原田）

- ・ 学術会議は学協会の協力の下、限られた分野での活動を進めるのではなく、学術領域を横断的に活動することが求められていると理解している（北島、小林）

（7）今後の活動計画

2022年7月頃に開催を予定したい

（8）その他

特になし